星 空 観 察

2025年度版

ねらい 内　容	美しい星空を見つめながら静かに時を過ごすことにより、自然を愛する心を育む。 また、宇宙や天文現象への興味、関心を育む。
対　象	小学生～
期　間	通年
人　数	200名
集合場所	自由
活動時間	自由
活動場所	玄関前、中庭、野草の丘
持ち物	懐中電灯
貸出品	双眼鏡、星座早見盤
施設職員	説明：　なし　　対応：　なし 団体の指導者主体で実施してください。 貸出品が必要な場合、職員にお申し出ください。
留意事項	・星空観察に集中できるよう、騒がしくならないように指導する。 ・空を見ている際は周囲の状況を把握しづらいため、動かずに観察する。 ・懐中電灯は最低限足元を照らす際のみ使用すること。

■ 指導者の支援活動

1　双眼鏡等の使用方法の指導
2　安全確認及び人員確認
3　星座の説明(季節ごと)

■ 別プログラムとの連携

「星座早見盤の作成」と組み合わせて行ってみてはどうでしょう？星座早見盤の作成とプラネタリウムを合わせたプログラムを計画することで、より天文学習が深まります。また星座早見盤は、夜の実天観測にも活用できます。

■活動展開例

1　天体の説明を聞き、課題を立てる。

○ 星座早見盤、双眼鏡の使用方法の説明を聞く。

○ 見ることのできる星座の中から、自分の見つけたい星座を決める。

2　星空のよく見える場所へ移動する。

3　星空観察をする。

○ 天体の基本、星空の美しさ、自然の雄大さ、星空への興味

【 季節別観察例 】

春：春の大曲線、北斗七星など(アルクトゥールス、レグルス、スピカ)

夏：夏の大三角形、さそり座など(ベガ、アルタイル、デネブ)

秋：ペガススの四辺形など

冬：冬の大三角形、オリオン座、ぎょしゃ座など

4　感想発表をする。